

1. 巡視船「しきしま」 フィリピン・ベトナムへ派遣



警備救難監訓示



出港式の様子



出港する巡視船「しきしま」



見送りの様子

海上保安庁では、アジア各国との海賊対策に関する相互連携・協力推進を目的として、平成12年以降、年数回、巡視船を東南アジアに派遣しており、8月22日には今年度1回目となる巡視船の派遣をフィリピン・ベトナムに向けて行いました。

派遣期間中、同国海上保安機関との連携訓練、海賊情勢・対策に関する意見交換等を行います。

2. 練習船「こじま」世界一周遠洋航海から帰港



帰港した練習船「こじま」



帰港式の様子

8月11日、練習船「こじま」が総日数97日間の世界一周の遠洋航海を終え、多数の教職員及び家族が出迎える中、広島県の呉市に帰港しました。

実習生は、遠洋航海を通じて、船舶の運航及び海上保安業務に必要な諸訓練を行うとともに、各寄港地では各国の海上保安事情を学び、施設見学やレセプション等の交流において国際感覚を磨きました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3

03-3591-6361 (代表)

(編集・企画) 海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

～自己救命策 3つの基本～

海に落ちても沈まない
ライフジャケット
の着用
1



必ずしも大丈夫(防水パックの活用)
携帯電話の携行
2



海のもしものは……
118番の活用
3



3. 子ども霞ヶ関見学デー



パネル、ビデオ、パソコンを使用した業務紹介



制服試着体験コーナー



うみまると一緒に写真撮影

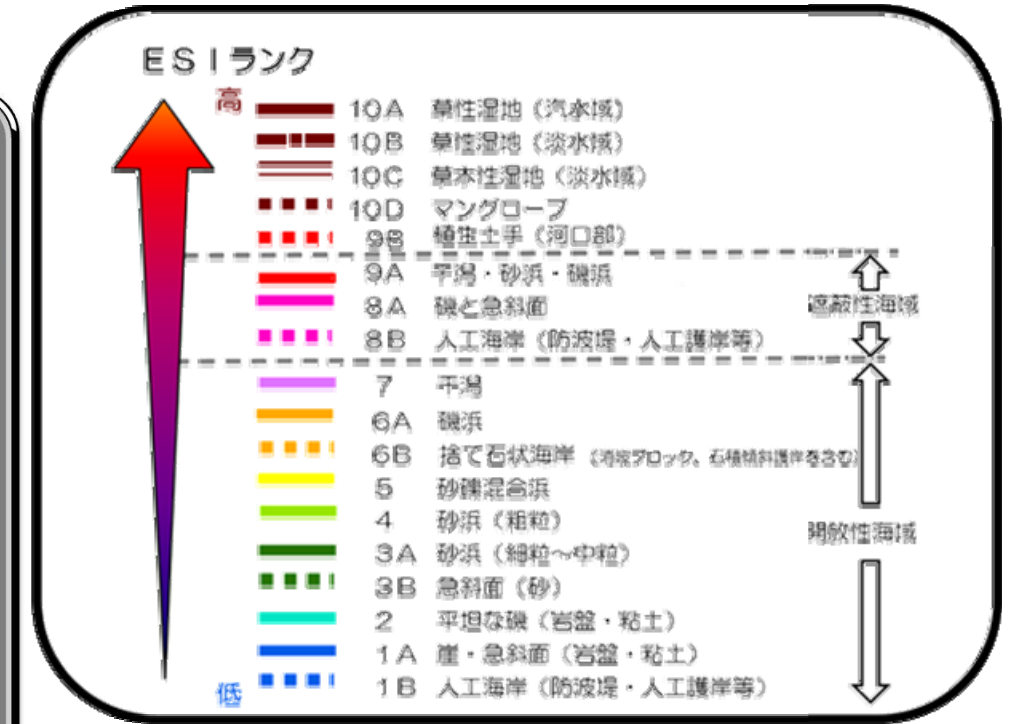


海上保安庁イメージキャラクター
うみまる(右)、うーみん(左)

文部科学省が主唱する「子ども見学デー」関連行事の一環として、8月8、9日の2日間、国土交通省をはじめ各府省庁等は、子どもたちに、行政の仕事について理解を深めてもらおうと「子ども霞ヶ関見学デー」を開催しました。

海上保安庁ではパネル等による業務紹介や制服試着コーナー、うみまる・うーみんとの写真撮影などを行い、多くの子どもたちが楽しんで海上保安庁の業務に触れる機会となりました。

4. 環境脆弱性指標がスマートフォンでも



優先的に保護を必要とする海岸を、色と数字で10段階にランク付けし、付近写真とともに掲載します。

大規模流出油関連情報(スマートフォン版):
http://www4.kaiho.mlit.go.jp/GeisNet_mobile/top.htm

海上において油流出事故が発生した場合、周辺海岸に油が漂着すると環境に深刻な影響を及ぼすことから、海上保安庁では漂着油から優先的に保護すべき海岸の情報(環境脆弱性指標: ESI)を印刷物やインターネットを通じて提供してきました。

8月1日からは、この情報がスマートフォンでも閲覧できるようになりました。これにより油流出事故の現場において、迅速・的確な防除の措置が出来るようになります。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>
海上保安庁 〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3
03-3591-6361 (代表)
(編集・企画) 海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

